

大中ラボ



実践に向けて

- 1 探究活動について
- 2 大中ラボの進め方
- 3 第1回目に向けて

1 探究活動について

自ら課題を見つけ、自ら主体的に考え、問題を解決する活動のこと

◆各教科

⇒教師が立てた問いに生徒たちが正解を探す

◆探究活動

⇒ 自分自身で問いを立てて、その答えを出したいという「探究心」を大切にして、学習を進めていく方法。

問いのポイント

◆解釈の多様性

どんな答えも答えになりうる懐の広さがあるか？

◆深掘りの可能性

追求しようと思えばどこまでも追求できる深さがあるか？

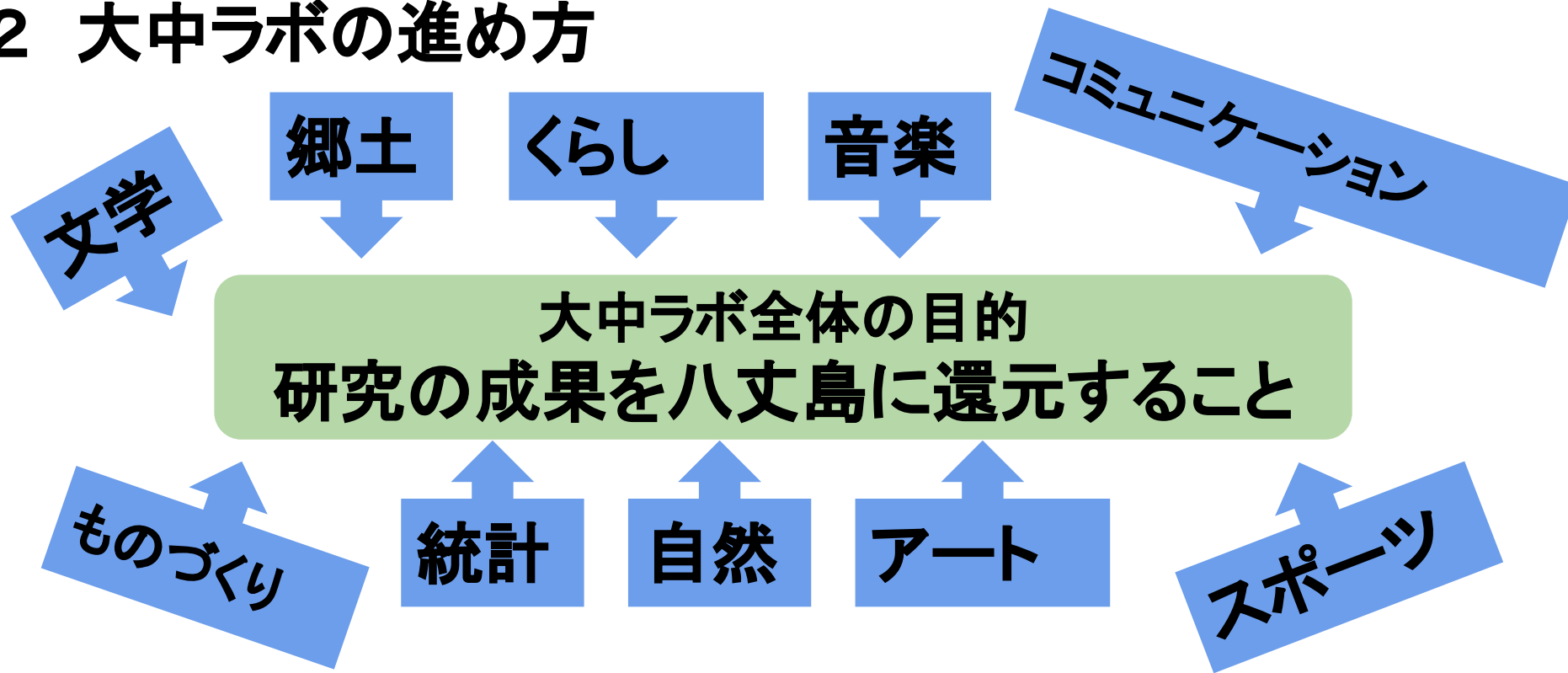
教員の役割

基本的にはファシリテーター（司会者）

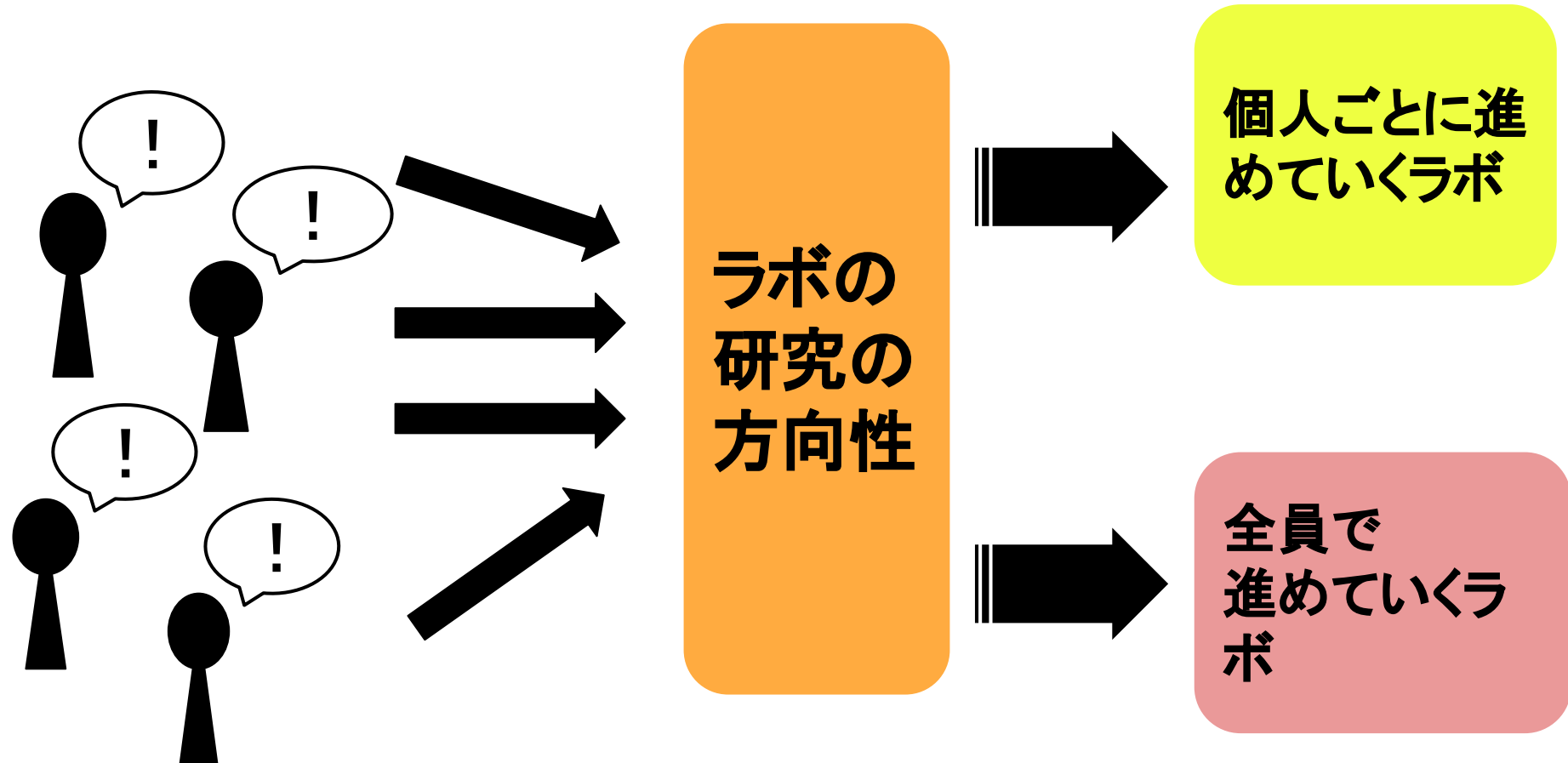


- ①生徒がテーマを見つけるまで⇒コーチング
- ②生徒が探究を理解するには⇒ティーチング
- ③生徒が探究の計画書を作成する⇒メンタリング

2 大中ラボの進め方



各ラボの”特性”をいかして課題にアプローチしていく



ラボの研究の方向性

個人ごとに進めていくラボ

全員で進めていくラボ

活動のまとめ

◆全ラボ共通:ポスターセッション

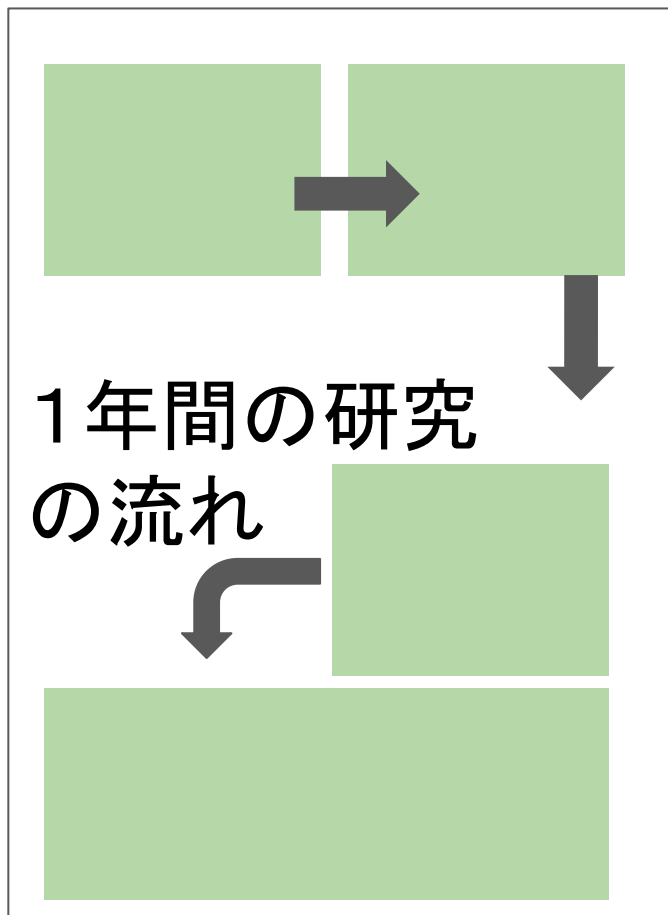
1年間の研究の成果を

模造紙1枚にまとめる

+英語でのキャプション(解説)

◆ラボごと:文章、作品、パフォーマンスなど
成果物のスタイルは自由。

ポスター一例



ラボの日程

①5/10 ②6/10 ③7/8 ④9/16
⑤10/7 ⑥11/18 ⑦12/16 ⑧12/22 +まとめ

この時間は各自の研究の進捗状況を
持ち寄ることがメイン

⇒毎月の活動で生徒がいつまでに自分は何を進めなく
てはいけないかを考えて研究を進める

研究をすすめていく方法は自由

- ・インタビュー
- ・フィールドワーク
- ・zoom会議
- ・アンケート
- ・SNSの活用・・・

いろいろなアイデアで！

3 第1回目に向けて

【事前課題】 5月2日～5月9日

↓ 課題を持ち寄って...

【第1回目】 5月10日(火)

研究の方向性を決める一番大切な回！

第1回目にやること

①ラボの方向性を決める

⇒ブレインストーミング

②いつまでにどんなことをやるか具体的に計画を立てる ⇒ラボ計画書

文学

郷土

くらし

音楽

コミュニケーション

大中ラボ全体の目的
研究の成果を八丈島に還元すること

ものづくり

統計

自然

アート

スポーツ

ブレスト(ブレインストーミング)...知恵の嵐

⇒参加者が自由にディスカッションを行い、新しい考え方や解決策を出していくこと



生産的なブレストのための4原則

- 1 批判はしない！
- 2 ユニークなアイデア大歓迎！
- 3 「質」より「量」！
- 4 アイデアを連想、結合し便乗する！



というわけで、大中ラボいよいよスタート

八丈島をより良くしていくために、

どんなアイデアがあるだろうか。

